



例会日/第1木曜日12:30~・第3木曜日18:30~  
例会場/ヴィラルーチェ TEL 0979-23-1122  
事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F  
TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722  
e-mail office@n-heisei.org  
<http://www.n-heisei.org/>

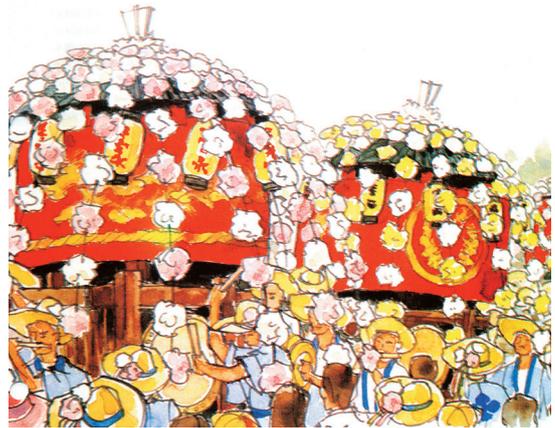
## 第1474回例会 令和6年12月12日(木)

### ●本日の例会プログラム

昼例会 総会

### ◎次回例会プログラム

昼例会 講師卓話



### 前回(1473回例会)の記録 令和6年11月28日(木)

#### ■ゲスト

立命館アジア太平洋大学  
アリエル エヤル様

#### ■ビジター

大分中央RC  
米山奨学生カウンセラー  
田原 和己様

#### ■出席報告

会員数 25名  
免除者数 5名  
対象者数 20名  
本日出席者 13名  
欠席者数 7名  
出席率 65.00%

#### ■1471回出席報告の修正

1471回欠席者 2名  
メイクアップ 0名  
欠席者 2名  
修正出席率 90.48% → **90.48%**

#### ●メイクアップ

#### ●欠席者

梶倉会員、大下会員

### ◎ロータリーソング 我らの生業

### ◎会長の時間 佐藤会長

皆さん、こんばんは。本日は米山奨学生を迎えての例会となります。ですので、例会前の予備知識として、本日はロータリー米山記念奨学会についてお話したいと思います。もう十分に米山基金事業を理解している先輩会員の皆さんは退屈するかとは思いますが、年数が浅い会員も増えてきておりますので、どうかお付き合い下さい。

さて、米山記念事業とは、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、そして支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています。「事業の使命」は、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育



成することです。これはロータリーの目指す【平和と国際理解の推進】そのものです。

この事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績をたたえ、後世まで残るような有益な事業を行いたいと東京RCが設立し、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために【平和日本】を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアン達の強い願いがあったそうです。なお、2022~23年度の寄付金収入は14億2292万と、前年度より7700万円増となっているそうです。そして特別寄付者割合は統計開始以来過去最多となる47.3%を記録したそうです。今期もより良い結果が出ることを願うばかりです。

そして最後の説明となりますが、米山梅吉氏は、東京・

芝田村町生まれ。19歳で渡米、帰国後は三井銀行入行。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中にダラスRC会員だった福島喜三次氏と出会い1920年日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。1924年には日本初の信託会社、三井信託会社を設立し初代会長に就任。晩年は自身のモットーである「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りにせよ」の信念のもと、三井報恩会を通じて社会・文化事業を支援し、そしてまた、私財を投じて小学校を設立し、教育にも献身した方です。

今日はこのような予備知識を入れて例会参加して頂くとともに、今期以降の米山記念奨学会担当会員の方よろしくお祈りいたします。

それでは本日の例会もよろしくお祈りいたします。

◎**幹事報告** 佐々木幹事

●例会変更 中津RC→12/18 (水) 18:30  
 ~家族忘年例会、12/25 (水) 休会、湯布院RC、別府RC、別府北RC、別府東RC

●週報受理 中津RC、竹田RC

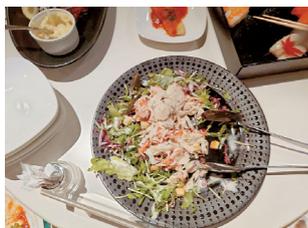
●幹事報告

・補助金管理センター開催のご案内

・商工会議所より会議所ニュース



◎**本日のメニュー**



◎**ニコニコボックス** 担当 会員増強委員会

〔川田SAA〕水田さんが最後の例会となりました。3年間幹事を務めた際に仲良くなり大変お世話になりました。

〔永松会員〕水田さんお疲れ様でした。

〔加来会員〕水田さんご苦労様でした。今後の活躍を期待しています。1月の半ばまで学会の仕事が入っています。のんびりしたいです。

〔若松会員〕水田さん長い間ありがとうございました。

〔佐藤会長〕水田さんお疲れ様でした。分からないことを相談させて頂き大変お世話になりました。

〔黒瀬会員〕水田さんお疲れ様でした。水田さんは電話で連絡があると1ついいですかと言って4つ話します。今後中津から福岡に移るとのことなので、車に気をつけてください。

〔石井会員〕水田さんお疲れ様でした。先週鹿児島に、社員旅行にいきました。

◎**ゲスト卓話**

本日の例会は、立命館アジア太平洋大学アリエル エヤル様をお招きし「オンライン授業から日本の対面生活へ」と題し、米山卓話を頂戴しました。



アリエル エヤル様が立命館アジア太平洋大学に入学した年はコロナが蔓延した時期であり、オンライン授業にて大学生活を行っていました。当時は、時差の影響で日本のオンライン授業が深夜にあるのでその対策として昼間はカーテンで覆い日本の生活に合わせるなど体を日本のリズムに対応していました。

現地での授業が行えないことや日本に滞在できないことが大変でしたが、オンラインを使つての様々な交流をすることで現地になくても自分の夢を叶えることが可能と考えました。

現在は、日本に滞在し有意義な大学生活を送っています。これも、オンラインがあったからこそその充実感を味わえています。

